

アケボノゾウからたどる今とむかしの環境 企画展

多賀の自然環境 — トンボの目で見たその現状 —

平成27年7月18日(土)～8月30日(日) あけぼのパーク多賀 ギャラリー

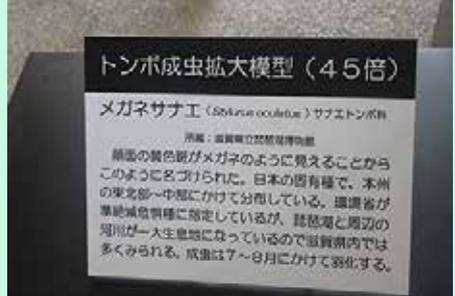
本年度 多賀町立博物館が取り組む事業「アケボノゾウからたどる今とむかしの環境」の企画展第1弾はトンボの企画展です。夏休みの思い出にぜひお越しください。



アケボノゾウ化石が発掘された場所は、ゾウが生きていた当時は水辺だったと考えられています。水辺の生き物の代表であるトンボの目で見ると、「今の多賀町の自然環境」はどのように映るのでしょうか。トンボの生息する自然環境などに焦点をあてた夏らしい展示になりました。出張中のアケボノゾウ骨格に代わって琵琶湖博物館からきた45倍の大きなトンボ「メガネサナエ」とそのヤゴの模型が目をはきまします。



琵琶湖博物館のメガネサナエの模型とその説明(トンボのからだのつくりがこれでよくわかります。)



トンボが見ている環境・川・水田いろいろな環境をトンボは見ている。

多賀のトンボの標本 実物展示



むかしの環境に生きたトンボ



トンボの進化や系統がわかる



トンボのきほん



となりのミニ情報は「クマの展示」



ヤゴとトンボの羽化のおはなし



琵琶湖博物館へ出張中のアケボノゾウはパネルで紹介



トンボの天敵とその標本

夏休みはぜひあけぼのパーク多賀 多賀町立博物館へお出かけください。